

環境報告書

（2000年4月1日～200×年3月31日）

2000年度

200×年00月00日

〇〇△△株式会社

1. 組織の概要

- (1)事業所名 : ○○△△株式会社
 (2)代表者氏名 : 代表取締役社長 環境太郎
 (3)所在地 : ○×市△○区□○町××番地
 (4)事業内容 : 1. 産業廃棄物の収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬
 産業廃棄物処分（中間処理）
 2. 一般廃棄物の収集運搬
 (5)資本金 : ○○,○○○,○○○円
 (6)沿革 : ○○○○年○月設立
 (7)事業の規模
 ①売上高 : ○○○,○○○,○○○円
 ②従業員数 : ○○名（内 パートタイマー○名、派遣社員○名を含む）
 ③敷地面積・延床面積
 ・本社・事務所敷地面積 : ○○○○m²延床面積 : ○○○○m²
 ・中間処理施設敷地面積 : ○○○○m²延床面積 : ○○○○m²
 ・積替え保管施設敷地面積 : ○○○○m²延床面積 : ○○○○m²

(8)許認可一覧と処理能力

許可の内容	事業の内容と能力	有効期限	許可行政
産業廃棄物処分業 許可番号：○・・○	破砕 ○○○t/d 廃プラ溶融 ○○○t/d	○○年○月○日 ～○○年○月○日	○○市
一般廃棄物再生処理業 許可番号：○・・○	生ゴミの堆肥化 保管量 ○○.○ m ³	○○年○月○日 ～○○年○月○日	○○市
産業廃棄物収集運搬業 許可番号：○・・○	有効期限：○○年○月○日 ～ ○○年○月○日 許可行政：○○府（県）		
産業廃棄物収集運搬業 許可番号：○・・○	有効期限：○○年○月○日 ～ ○○年○月○日 許可行政：○○市		
特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可番号：○・・○	有効期限：○○年○月○日 ～ ○○年○月○日 許可行政：○○府（県）、○○市		
一般廃棄物収集運搬業 許可番号：○・・○	有効期限：○○年○月○日 ～ ○○年○月○日 許可行政：○○市		

・積替え保管

所在地及び面積	産業廃棄物の種類	許可行政
○○市△△▼丁目□□-□ (面積：××.×m ²) (保管上限：△△.△m ³)	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 金属くず、ガラスくず等	○○県

*積替え保管施設が無い場合不要

(9) 取扱い産業廃棄物

廃棄物の種類	収集運搬	中間処理 (処理内容：破碎、選別、溶融 等)
産業廃棄物	汚泥・廃プラ・紙くず・木くず・ 繊維くず・ゴムくず・金属く ず・ガラスくず・がれき類	(許可品目と処理内容) がれき類：破碎処理
特別管理産業廃棄物	廃石綿等	(許可品目と処理内容) 収集運搬のみ該当しない

①一般廃棄物運搬車両（施設）の種類（車両形式・積載量）と数量（台数）

・処理実績

収集運搬実績	単位	2×××年度	2×××年度	2×××年度
一般廃棄物運搬量	トン	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

・車両の種類と台数

車両の種類	台数
〇〇〇〇〇	△台
〇〇〇〇〇	△台
〇〇〇〇〇	△台

②産業廃棄物運搬車両（施設）の種類（車両形式・積載量）と数量（台数）

・処理実績

収集運搬実績	単位	2×××年度	2×××年度	2×××年度
産業廃棄物運搬量	トン	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

・車両の種類と台数

車両の種類	台数
〇〇〇〇〇	△台
〇〇〇〇〇	△台
〇〇〇〇〇	△台

②特別管理産業廃棄物運搬車両（施設）の種類（車両形式・積載量）
と数量（台数）

・処理実績

収集運搬実績	単位	2×××年度	2×××年度	2×××年度
特別管理廃棄物 収集運搬量	トン	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

・車両の種類と台数

車両の種類	台数
〇〇〇〇〇	△台
〇〇〇〇〇	△台

③中間処理施設の種類及び処理能力

・ 処理施設

【参考】 破砕機・重機（日立ZAXIS 70 ユンボ）・

重機（コマツアバンスWA40）重機（コマツアバンスPC100）・

重機（コマツアバンスPC120）

・ 中間処理施設（設備及び処理能力）

【参考】 破砕（13.12m³/日（8時間））がれき類19.4 t/日）

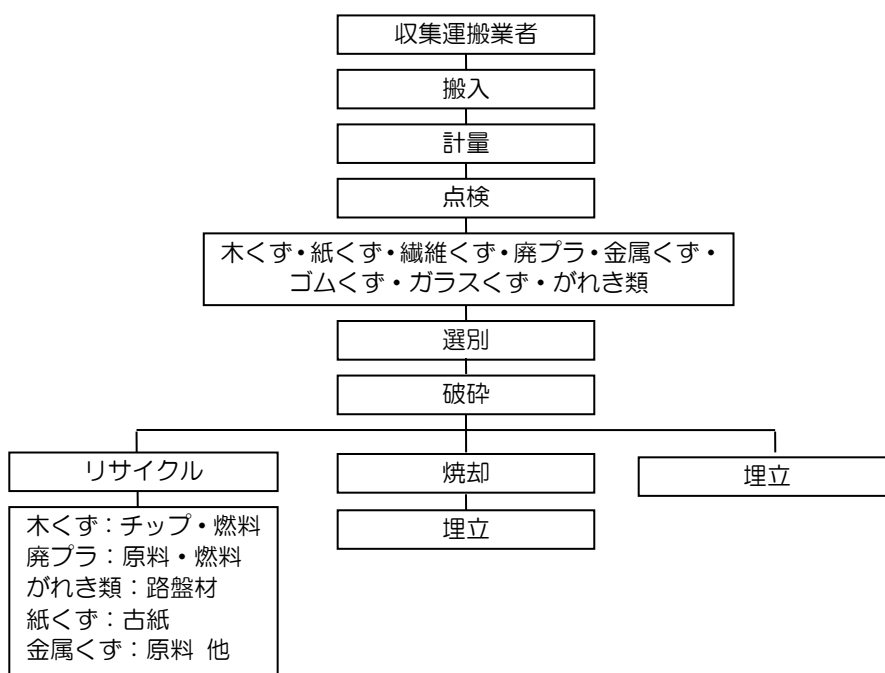
許可品目：廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・

金属くず・ガラスくず・がれき類

・ 処理実績

収集運搬実績	単位	2×××年度	2×××年度	2×××年度
中間処理量	トン	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

・ 処理工程図【参考】



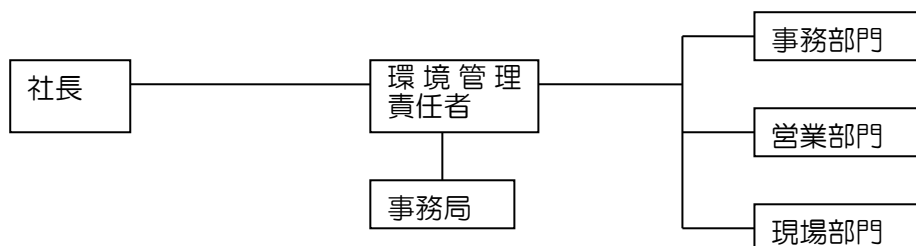
④最終処分場の場所、方法及び処理能力

最終処分先の番号	事業場の名称	所在地	処分方法	施設の処理能力
第〇〇〇号	〇〇安定型 最終処分場	〇〇県〇〇市	陸上埋立	埋立容量 〇〇〇m ³
第〇〇〇号	〇〇管理型 最終処分場	〇〇県〇〇市	陸上埋立	埋立容量 〇〇〇m ³

(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

(11) 環境活動の取り組み体制



環境管理責任者：〇〇 〇〇

担当者連絡先：〇〇 〇〇

(TEL：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)

2. 登録対象

(1) 登録内容

みちのく EMS 登録証：

登録日：2×××年〇〇月〇〇日

登録期限：2×××年〇〇月〇〇日

登録番号：みちのく EMS 優良産廃処理業者用 〇〇〇〇〇

(2) 登録範囲

産業廃棄物、特別産業廃棄物並びに一般廃棄物の収集運搬及び、産業廃棄物の処分（中間処理）

(3) 対象事業所

本社・事務所〇×市△〇区□〇町××番地

中間処理施設〇×市△〇区□〇町××番地

積替え保管施設〇×市△〇区□〇町××番地

3. 環境方針

〇〇株式会社 環境方針

基本理念

〇〇株式会社は、地球環境問題を人類永遠の課題と捉え、関る全員がこの共通の意識のもとに、社内外におけるあらゆる活動を通して、環境負荷の低減、環境保全の実現のために積極的に努力する。

基本方針

1. 〇〇株式会社は、産業廃棄物処理等に係る全ての事業活動の提供を通じて、社会に対して環境保全の取り組みを積極的に展開する。
2. 当社の活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、以下の項目に
取り組み、汚染の予防ならびに継続的改善に努める。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 総排水量(又は水使用量)の削減
 - (4) グリーン調達の推進
3. 環境方針の達成のため環境目的と目標を定め、一致協力してその達成に努める。

目的と目標は定期的に見直す。
4. 環境側面に関する法規制、及びその他の要求事項を順守する。
5. この環境方針は、当社社員及び当社に係る全員に周知するとともに、一般にも開示する。

平成〇年〇月〇日

〇〇株式会社

代表取締役 青葉 一郎

4. 環境目的・環境目標

2×××年度以降の環境目標・環境目的

環境目的		2×××年度 (基準値)	2×××年度 目標値	2×××年度 目標値	2×××年度 目標値
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 2×××年度比 ○%削減	○○kgCO ₂ /年 ○○kWh/年	×0.99	×0.98	×0.97
	ガソリン使用量 2×××年度比 ○%削減	○○kgCO ₂ /年 ○○L/年	×0.99	×0.98	×0.97
廃棄物排出量の削減 2×××年度比 ○%削減		○○kg/年	×0.99	×0.98	×0.97
総排水量(又は水使用量)の削減 2×××年度比 ○%削減		○○L/年	×0.99	×0.98	×0.97
グリーン購入の推進 ○品目以上		○品目/年	×1.01	×1.02	×1.03
受託した産業廃棄物処分量 リサイクル率の向上 2×××年度比○%増加		○○t/年 リサイクル率 ○%	×1.01 (%)	×1.02 (%)	×1.03 (%)

CO₂ 排出係数：東北電力（2012年実績）0.560kg-Co₂/kWh

5. 環境目的・環境目標と実績（環境マネジメントプログラム）

2×××年度環境活動実績

環境目的		具体的方策	目標値	実績値	評価
二酸化炭素の排出量削減	電力使用量 2×××年度比 ○%削減	<ul style="list-style-type: none"> 空調温度の適正管理 休憩時間の消灯確認 設備の休止時電源オフ 	○○kgCO ₂ /年 ○○kWh/年	○○ kgCO ₂ /年 ○○kW/年	A
	ガソリン使用量 2×××年度比 ○%削減	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップの推進 	○○kgCO ₂ /年 ○○L/年	○○ kgCO ₂ /年 ○○L/年	A
廃棄物排出量の削減 2×××年度比 ○○%削減		<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物管理教育の徹底 多排出量職場への再教育 	○○kg/年	○○kg/年	B
総排水量(又は水使用量)の削減 2×××年度比 ○%削減		<ul style="list-style-type: none"> 雨水の利用 節水教育(生活水での節水ゴマ活用、等) 設備洗浄方法の指導 	○○L/年	○○L/年	C

グリーン購入の推進 ○品目以上	・事務用品購入時リサイクル品を選ぶ	○品目/年	○品目/年	A
受託した産業廃棄物処分量 リサイクル率の向上 2×××年度比○%増加	・排出事業所への分別指導 ・持ち込み業者への指導 ・効率の良い選別作業	○○ t/年 ○%/年	○○ t/年 ○%/年	C

評価記号A：良好(100%以上) B：やや不足(90~100%) C：不適合(90%以下)

5.1 具体的環境活動の評価

☆電力使用量の削減では、照明や空調設備について部屋ごとに消灯や運転温度の基準を作るとともに確認のための担当者を決めて実行し、確認記録を環境管理責任者が定期的にチェックをした。

最初のうちは実行がばらついたが、次第に各人が意識し、習慣化して管理するようになっていった。

☆廃棄物排出量の削減については、従業員の作業に関する知識と方法等の教育を徹底した。また、排出量の多い職場については、教育担当者が同行してどこが問題なのかを認識させ、再教育を実施することによって徐々に効果を上げつつある。

☆用水使用量の削減については、従来、設備の洗浄等で水を出しっぱなしで作業をするなど、無駄が多かったが作業の方法を標準化し指導を徹底した。各自節水を心がけるようになり大幅に使用量の削減が実現しつつある。

5.2 2×××年度活動についての今後の課題

電力やガソリン使用量の削減については細かい基準を作成し、徹底して管理した結果、大きな削減成果を得た。

また、廃棄物排出量の削減は即効果が表れていないが今後更に教育等の徹底に努める。さらに、用水節減については、教育の成果が実現途中にあり、目標達成に至っていないため、本項目も教育等の徹底に努める。

来年度については、今年と同じ目標を掲げ、レベルアップしたい。

- ・ 電力使用量の削減については、創意工夫で更に実績を上げる。
- ・ 廃棄物使用量の削減については、本年度の教育効果が発揮されることを期待する。
- ・ 用水使用量削減については、一層の意識徹底を図り、再度チャレンジする。

尚、来年度は次の年のテーマ設定のための予備調査項目をサブテーマとし

て掲げることを検討している。次年度テーマとしては極力本業に係わる内容のものを取り上げていくことを検討する。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はなかった。また関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

7. 内部監査・外部監査の報告

7.1 内部監査

①実施日：2×××年○月○日

②範囲：本社 工事部（現場含む）

③チーム編成：内部監査員 2 名

※みちのく EMS 内部監査員養成講座修了

④結果の報告

不適合 0件、改善事項 1件（2×××年〇月〇日是正処置）

7.2 外部審査（みちのく EMS）

①実施日：2×××年〇月〇日

②審査結果

不適合 0件、改善事項 〇件（2×××年〇月〇日是正処置）、
観察事項 〇件、推奨事項 〇件

8. 最高責任者による全体の評価見直しの結果

8.1 全体評価

システムの構築は、全般的にスムーズに運用され、現時点で見直す点はない。
2×××年度もこのシステムを継続し、環境負荷低減に向けて推進すること。

8.2 見直し評価

環境方針の変更の必要性は継続する

〇〇事業拡大に伴い、環境活動及び環境経営システムの変更を検討する

9. コミュニケーション

〇〇市が開催する〇〇川の清掃活動（〇月〇日開催）に参加した

〇〇県より、技術者表彰を受けた

施設見学を〇〇人受け入れた

以上